

第6学年 ハヤチネタイム学習活動案

日時 平成17年 9月16日(金) 6校時
児童 男子10名 女子3名 計13名
授業者 千葉 順一
場所 6年教室

1 単元名 「内川目のよさ」発信！

2 単元について

内川目地区には、素晴らしい歴史と自然が残されている。本校の周辺地域は、「立石遺跡」として全国でも有名な縄文晩期の遺跡であり、数多くの土器・土偶などが出土されている。また、国立公園に指定されている早池峰山は高山植物の数や種類が多く、固有種なども見られ、高山植物の宝庫と言われる貴重な山である。この山は、古くから山岳信仰の霊場でもあり、地域では、国の重要無形民俗文化財第一号に指定された早池峰神楽が舞い継がれている。このような地域の財産をしっかりと理解することが、地域社会を誇りに思う心情につながると考え、この単元を設定した。

児童は、5年生のときに、「めざせ、早池峰博士！」という単元で早池峰山の動植物や伝説などについて学習をしている。

本単元の事前調査では、「内川目の自慢できるもの」として、どの子も10前後の例を挙げることでできていた。しかし、その知識は確実なものではなく、本や家族などから得た情報や憶測によるものであった。この結果から、「素晴らしい」と思っているものの、どのように素晴らしいものであるのか、具体的な知識はあまりもっていないということが分かった。

そこで、本単元では、「内川目のよさ」の中から調べたいことを焦点化させ、深く調べていくことをねらっていきたい。さらに、昨年度までは調べてこなかった歴史や観光などにも目を向けさせていきたいと考える。

中間発表会では、それぞれの発表に対して、より多くの質問や意見を引き出し、次の調べ学習につなげていきたい。そのために、発表会を2回に分け、発表の時間を保障することと、聞きながらメモをとらせる活動を取り入れたいと考える。

単元のまとめの発表会では、深めた内容を発信させたいと考える。そのために、ワークシートを使って、調べたことを再構築させたい。調べたことを再構築することが、より深い理解につながるものとする。発信については、発信対象を考えさせ、自分が調べたことをより分かりやすく伝えるための方法を工夫させたい。各自が選んだ発信対象に発信したり、友だちの発信を聞いたりすることにより、「内川目のよさ」について、より理解を深めさせ、地域社会を誇りに思う心情を育てることにつなげていきたいと考える。

3 単元のねらい

<気づく力>

- ・「内川目のよさ」について、調べたり、発表したりすることにより、内川目の歴史や自然の素晴らしさに気付くことができる。

<課題解決の力>

- ・「内川目のよさ」について、自分の課題に向かって進んで調べたり、友だちと意見を交流したりすることにより、自分の考えを深めることができる。

<表現する力>

- ・調べた内容について、どのように素晴らしいのかが分かるように内容と構成を考えて発信することができる。

4 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
気づく力	「内川目のよさ」について、考えたり、話し合ったりすることから、これからの学習に関心をもったり、課題を選んだりすることができる。 課題について、調べていく方法を考えることができる。 中間発表会を振り返り、さらに調べていくべきことを見付けることができる。
課題解決の力	調べたことの中から必要なものを選び、自分の言葉で考えをまとめていくことができる。 中間発表会で学んだことをもとに、深く追究することができる。 調べた結果から、自分が考えたことや取り組んでいきたいことを考えることができる。
表現する力	聞き手を意識して、自分の言葉で、分かりやすく中間発表を行うことができる。 調べた「内川目のよさ」は、どのように素晴らしいのかが、聞き手に伝わるように発信することができる。

5 単元活動計画 (計43時間) []は時数

段階	時	ねらい・学習活動・内容	評価
気づく	(1)	内川目の素晴らしさについて、思ったことを書いたり、話し合ったりすることにより、これからの学習について見通しをもつことができる。 (1)「内川目のよさ」について、話し合おう ・「内川目のよさ」を探し、発表し合う。〔1〕	< 気 - >
いただく	(2)	「内川目のよさ」について話し合いをもとに、自分の課題を決めて、調べる計画を立てることができる。 (1)個人の課題を決めよう ・調べてみたい課題を決める。〔1〕 (2)学習計画を立てよう ・調べ方・まとめ方を考える。〔1〕	< 気 - > < 気 - >
活動する	(18)	自分が立てた計画をもとに進んで調べ学習をしたり、中間発表会を振り返り、さらに調べていかなければならないことを確かめることができる。 (1)自分が決めた課題について調べよう ・自分が選んだ方法で課題について調べる。〔7〕 (2)まとめよう ・聞き手に分かりやすい言葉を使ってまとめる。〔8〕 (3)中間発表会をしよう ・課題について調べ、まとめてきたことが聞く人に伝わるように発表し、これからの学習で調べていくべきことを見付ける。〔2〕 ・中間発表会で得たことをもとに、さらに調べていくべきことを確かめる。〔1〕	< 課 - > < 表 - > < 気 - >
深める	(8)	さらに調べ学習を進めたり、改善点を修正したりして、自分が調べた課題についての理解を深めることができる。 (1)さらに調べ、深めよう ・自分のまとめたものがよりよいものになるように、深く調べていたり、修正を加えたり、自分の考えを入れたりしてまとめる。〔8〕	< 課 - >
広める	(14)	自分が調べた「内川目のよさ」は、どのように素晴らしいのかが伝わるように発信することができる。 (1)発信しよう ・調べたことを発信するには、どのような方法がよいかを考え、まとめる。〔10〕 ・聞き手に向けて、「内川目のよさ」が伝わるように、分かりやすく発信する。〔3〕本時(3/3) (2)今までの学習を振り返ろう ・今までの学習の振り返りを行うことができる。〔1〕	< 表 - > < 課 - >

「注」 はねらい、()は学習活動、・は内容、ゴシック体の部分は学団の重点目標を示す。

6 本時の学習

(1) 仮説とのかかわり

児童は、中間発表会后に、調べてきたことを再構築してきた。本時は、仮説2にかかわり、再構築したものを発信するまとめの発表会の時間である。児童は、内川目の素晴らしさがある程度、認識してはいるものの、どのように素晴らしいものであるのかということについて、十分に理解が深まってはいない。そこで、内川目の素晴らしさを伝える方法としては、他の地域との比較をすること、視覚に訴えるような物（実物・模型・実演など）を使うこと、クイズ形式の発表を行うことなどが考えられる。このような方法の中から発表方法を個々に選択させ、内川目がどのように素晴らしいのかが分かりやすく伝わるように表現をさせたい。

(2) 学習のねらい

・聞き手に伝わるように、自分なりの工夫を用いて、内川目のよさを発表することができる。（表現）

(3) 学習の達成目標

- ・自分なりの工夫を用いて、発表することができる。
- ・自分の言葉を使い、聞き手を意識して発表することができる。

(4) 本時の展開（・は活動のねらい、*は教師の支援、 は評価を示す。）

段階	学習活動の流れ	ねらい・支援・評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 めあて 自分の工夫を生かして、調べたことを伝えよう。 2 発表の視点、発表を聞く視点を確認する。	・本時の課題をつかませる。 *発表するときは、自分なりの工夫を用いて、内川目のよさを分かりやすく発表すること、聞くときは発表のよいところを見付けたり、感想をもったりしながら聞くことを確認する。声に出して、めあてを確認することができたか。
展開 35分	3 個人ごとに発表を行い、発表のよさや感想を出し合う。 (1)ストーンサークル (2)内川目の大きな木 (3)土偶 (4)岳神楽	・内川目のよさが伝わるように、自分なりの工夫を用いて、発表させる。 ・友達の発表に対して、よさや感想を出させる。 *発表・感想・出された発表のよさについて、認めたり、助言したりする。 自分なりの工夫を用いて、発表することができたか。
終末 5分	4 本時のまとめをする。 (1)次時の学習内容について知る。	・次時の学習内容を知らせ、次への意欲をもたせる。 *今までの学習を振り返り、内川目のよさをまとめていくことを確認する。 次時の学習内容を知ることができたか。